

206) 教育実習

まだ大学に通っていた頃、教職課程を専攻しており、然る小学校に教育実習に行ったときのことであります。5年生だったか6年生だったか忘れましたが、国語の授業で、『情』を含んだ2字の熟語を上げることになりました。『友情』に『愛情』『感情』『厚情』『心情』『情愛』『情実』…この辺までにしてあげれば良かったのでありますが、根が真面目なもんですから、つい夢中になって『痴情』『情事』を上げてしまったのであります。しかしよくよく考えてみると、相手はまだ10歳前後の子供です。『情事』ってどういう意味だと聞くのであります。これには小生も少なからず参ってしまって、「情事とはつまり所ジョージが得意とする、人間世界の愛情表現のことです…、」とか何とか、わけの分からないことを言っていますと、さる男の子が「ぼく知ってるよ～。エッチする事でしょ！」と言うではありませんか。これにはさすがの私も脱帽してシマッタのであります。授業が終わって担任の先生にエラク怒られたのは言うまでもありません。それにしてもこの生徒たちも今や妻子持ちです。そろそろ情事なんぞを体験しているのでありましょうか。女房殿にまったく逆らうことのできない私には、今更ながらうらやましい気がいたす次第です。それはともかく所さんすみません。これから気をつけます。